

令和4年度 アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）調査結果

【結果報告書・概要版】

◆調査の目的

「令和4年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）」は、関市民のまちづくりへの意識等を把握し、政策への反映に生かすことを目的として実施しました。

◆調査の概要

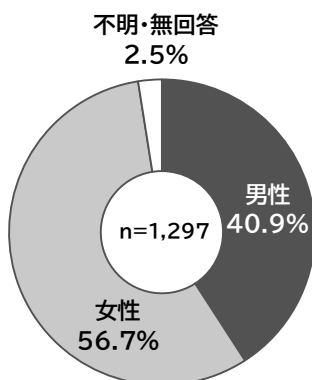
- ① 調査対象者 令和4年11月現在、関市に居住している満16歳以上の市民3,000人
- ② 抽出法 住民基本台帳から対象者を無作為に抽出
- ③ 調査期間 令和4年11月25日～令和4年12月16日
- ④ 調査方法 郵送法（郵送配布 - 郵送回収またはインターネット回答）
- ⑤ 回収結果 1,297票（回収率：43.2%）
- ⑥ 報告書の見方

- ・グラフ中の「n」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。
- ・グラフ中の「％」は、小数第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。

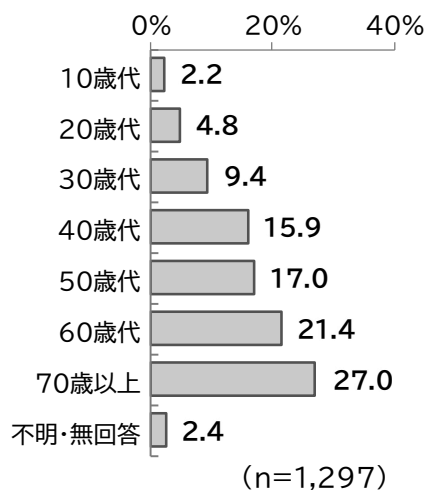
1 回答者の属性

◆回答者について、性別は女性がやや多く、年齢は「70歳以上」、次いで「60歳代」が多くなっています。居住地区は、「関地域」が83.4%と最も多くなっています。

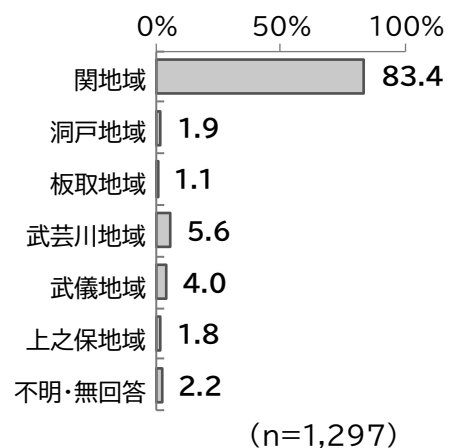
① 回答者の性別



② 回答者の年齢

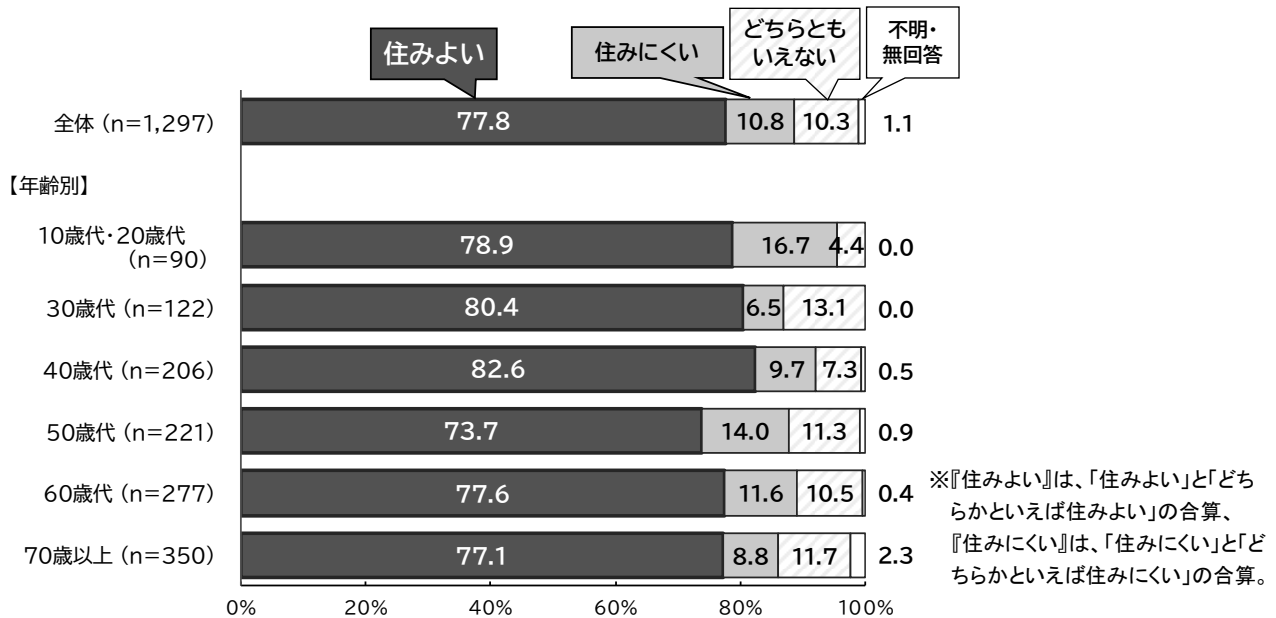


③ 回答者の居住地区



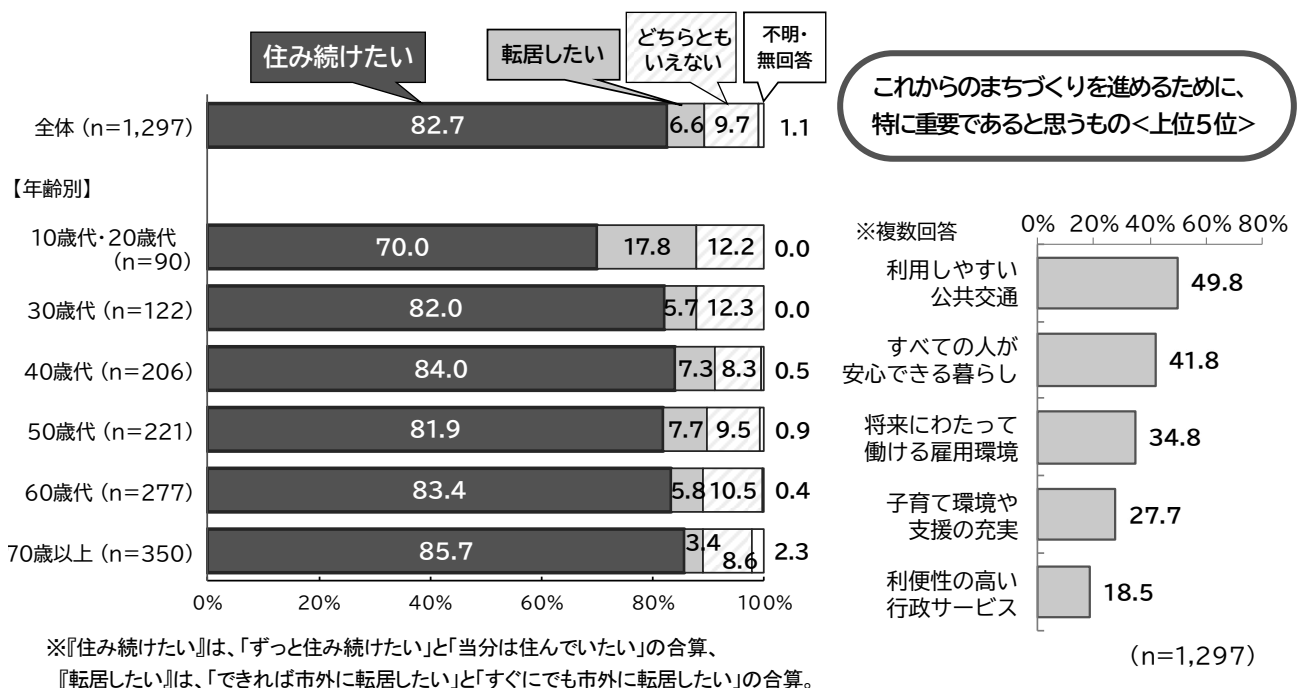
○「あなたは関市が住みよいまちだと感じますか」

◆関市が住みよいまちと感じるかについて、全体の 77.8%が関市を『住みよい』と感じています。
年齢別にみると、30 歳代、40 歳代で『住みよい』が8割を超えています。



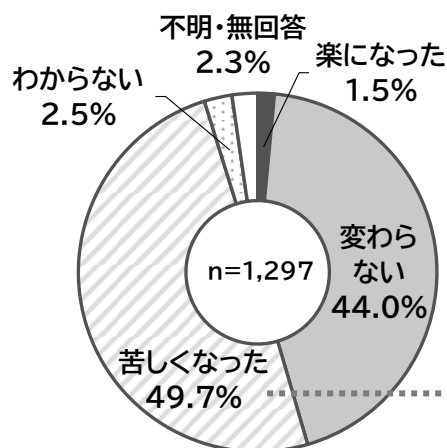
○「あなたは今後も関市に住み続けたいと思いますか」

◆今後の関市への居住意向について、全体の 82.7%が関市を『住み続けたい』と回答しています。
年齢別にみると、『住み続けたい』では 10 歳代・20 歳代が 70.0%とやや低くなっています。
また、関市のこれからのまちづくりを進めるために重要なことは、約半数が「利用しやすい公共交通」と回答しています。

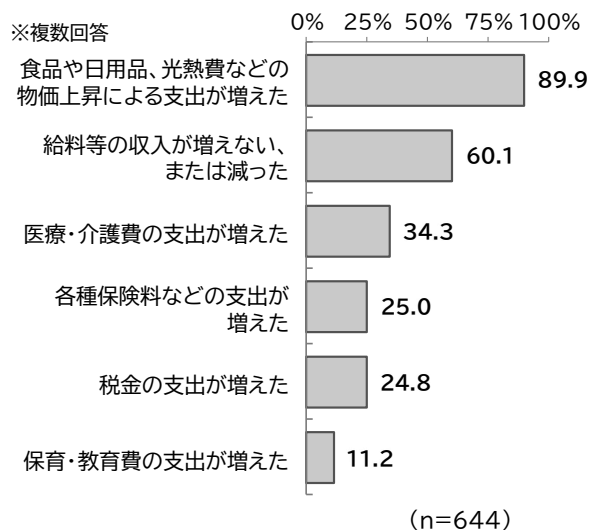


○「家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか」

◆去年の今頃と比較して、家庭の暮らし向き（家計など）が、全体の 49.7%が「苦しくなった」と回答しています。「苦しくなった」と感じる理由については、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が 89.9%と非常に高い割合になっています。

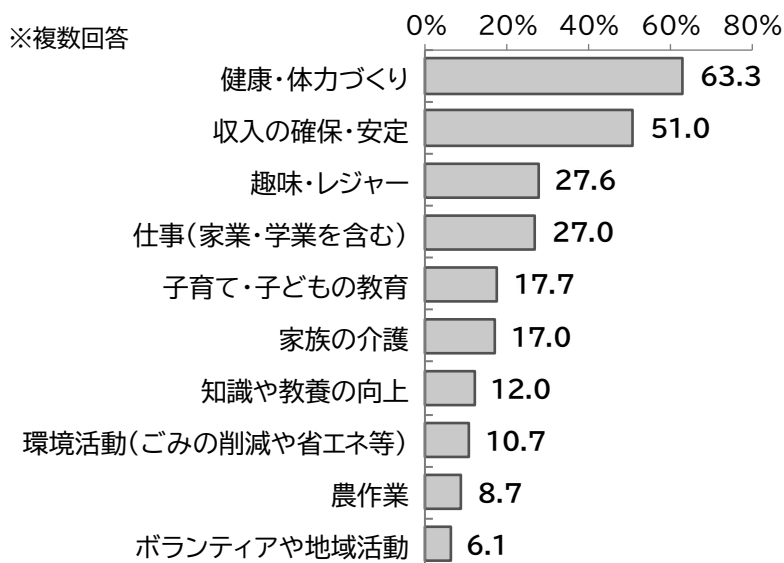


暮らしが苦しくなったと感じる理由
※「苦しくなった」を選んだ方



○「今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか」

◆今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことについて、全体では「健康・体力づくり」が 63.3%と最も高く、次いで「収入の確保・安定」が 51.0%となっています。

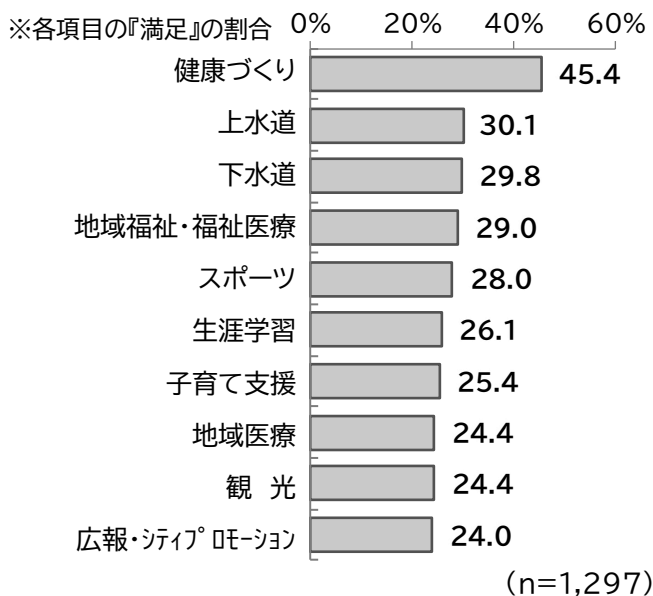


○「市が行っている各施策の『満足度』と、今後市が『重点的に進めるべきか』について意見をお聞きます」

- ◆満足度(『満足』の割合)について、「健康づくり」が45.4%と最も高く、次いで「上水道」が30.1%、「下水道」が29.8%となっています。
- ◆重点的に進めるべきだと思う施策は、「公共交通」が20.6%と最も高く、次いで「高齢者福祉」が19.4%、「子育て支援」が18.5%となっています。年齢別では、いずれの年代においても「公共交通」が高くなっていますが、30歳代以下では「子育て支援」が、50歳代以上で「高齢者福祉」が、最も高くなっています。

①施策の満足度

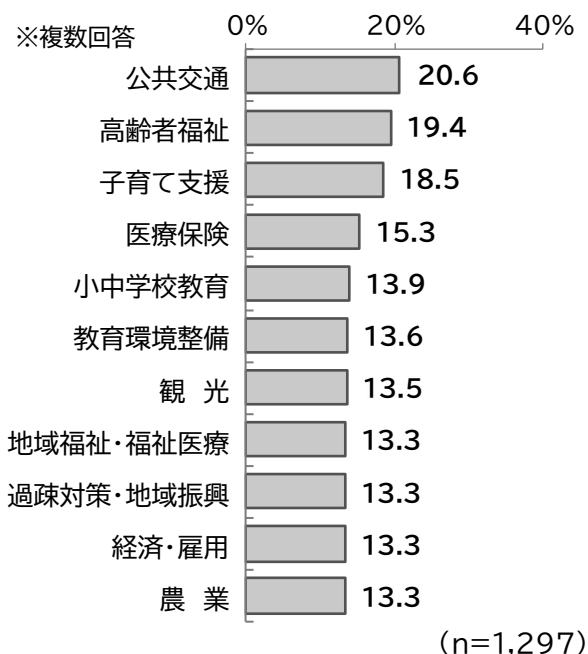
<市の施策41項目のうち上位10項目>



※『満足』…各項目の「とても満足」と「まあ満足」の合算

②重点的に進めるべきだと思う施策

<市の施策41項目のうち上位11項目>



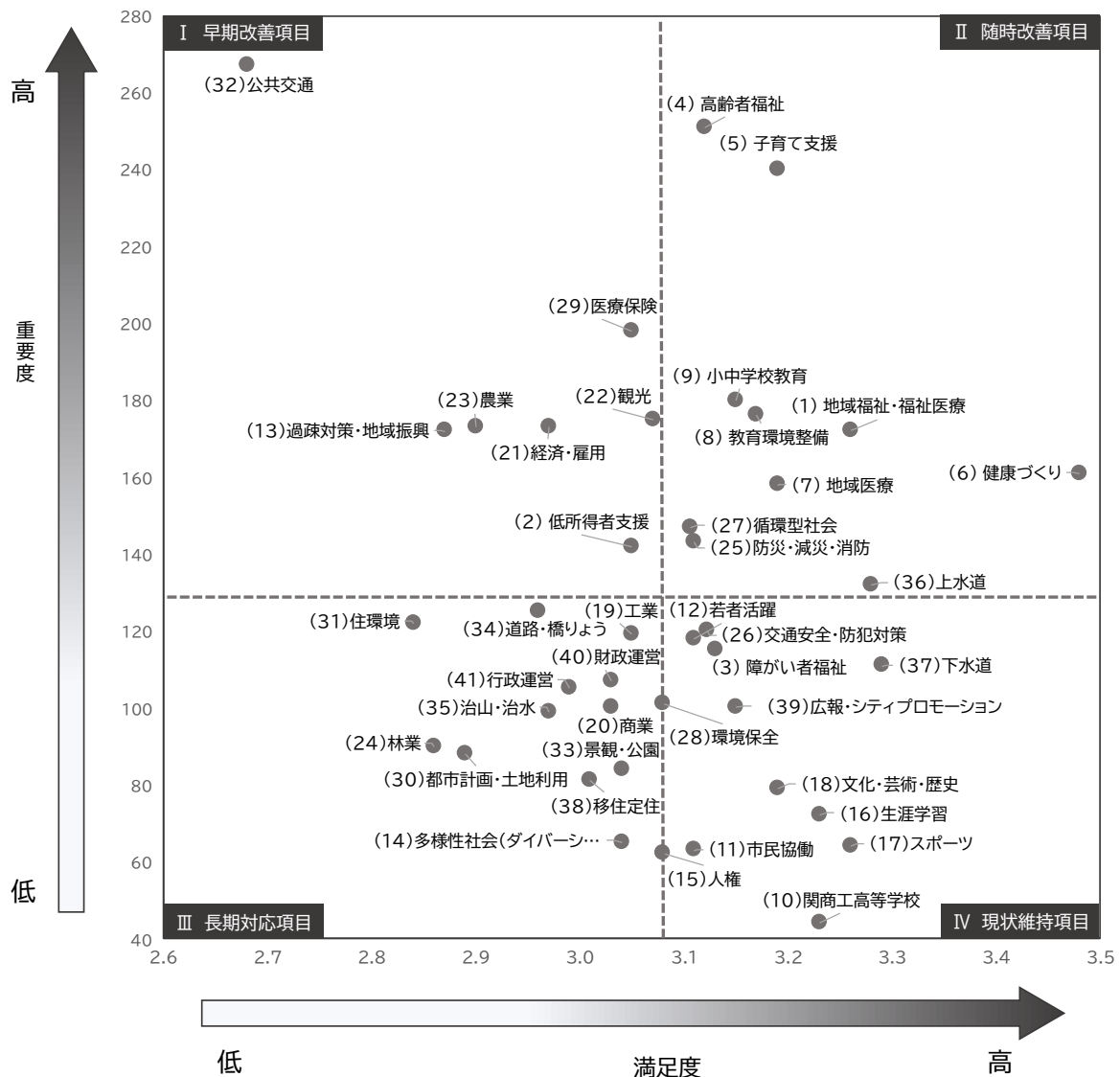
【年代別/重点的に進めるべきだと思う施策<上位3位>】

年代/上位3位	第1位	第2位	第3位
10歳代・20歳代 (n=90)	子育て支援 (38.9%)	公共交通 (28.9%)	教育環境整備 (24.4%)
30歳代 (n=122)	子育て支援 (35.2%)	教育環境整備、小中学校教育 (28.7%)	
40歳代 (n=206)	公共交通 (32.5%)	観光 (21.8%)	高齢者福祉 子育て支援 (21.4%) 小中学校教育
50歳代 (n=221)	高齢者福祉 (24.4%)	公共交通 (20.8%)	医療保険 (19.0%)
60歳代 (n=277)	高齢者福祉 (21.3%)	公共交通 (18.4%)	医療保険 (15.5%)
70歳以上 (n=350)	高齢者福祉 (16.3%)	医療保険 (15.4%)	公共交通 (15.1%)

施策の満足度・重要度のポートフォリオ分析

施策の満足度、重要度を得点化し、算出された得点をもとに平均値を境界として、4つの領域に区分した満足度・重要度の分布図を作成、今後の施策の方向性について分析を行いました。

◆「＜タイプⅠ＞早期改善項目」に分類される施策には、「(32) 公共交通」「(13) 過疎対策・地域振興」「(23) 農業」などがあがっています。



【満足度・重要度の得点化】

満足度…「とても満足」(5点)×回答数 + 「まあ満足」(4点)×回答数 + 「普通・どちらともいえない」(3点)×回答数 + 「やや不満」(2点)×回答数 + 「不満」(1点)×回答数 / 無回答を除く回答数

重要度…「重点的に進めるべきだと思う施策」(1点)×回答数

【重要度と満足度の関係】

＜タイプⅠ＞早期改善項目 (重要度は高いが、満足度は低い) ⇒現在の施策や事務事業を優先して改革・改善すべき施策の分野	＜タイプⅡ＞随時改善項目 (重要度が高く、満足度も高い) ⇒今後も継続して事業に取り組めるよう、事業費が過大となっていないか点検するとともに、さらなる事業の効率化を検討する施策の分野
＜タイプⅢ＞長期対応項目 (重要度が低く、満足度も低い) ⇒施策の重要性に対する認知を高めるとともに、取組の方向の改善を検討する施策の分野	＜タイプⅣ＞現状維持項目 (重要度は低く、満足が高い) ⇒今後も着実に事業の推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高める施策の分野

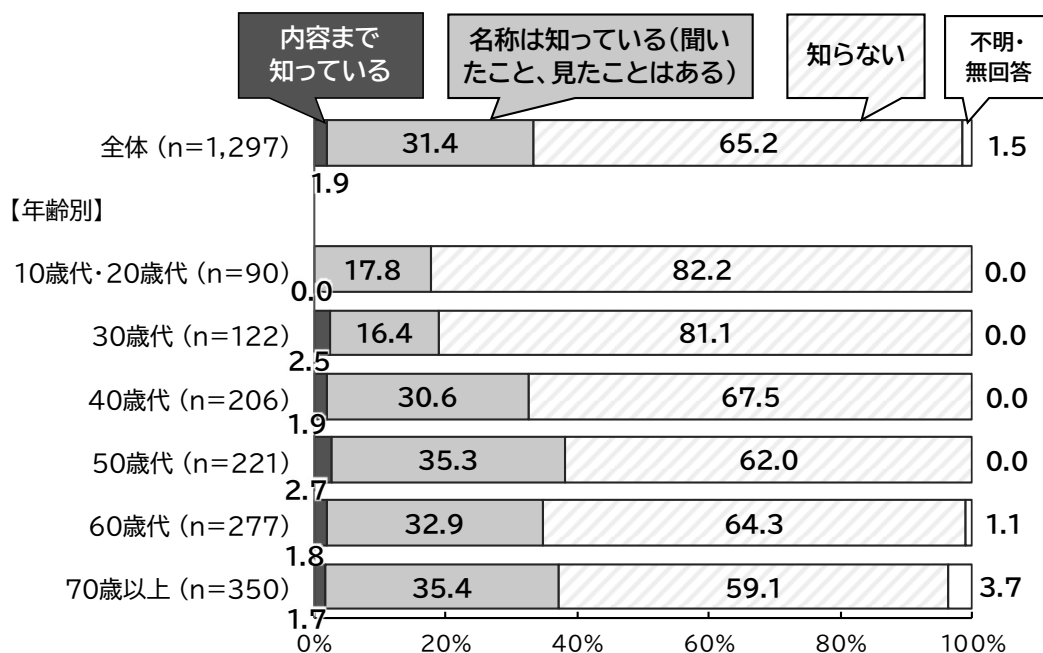
5

まちづくりへの意識と取組について

① 地域づくり・協働について

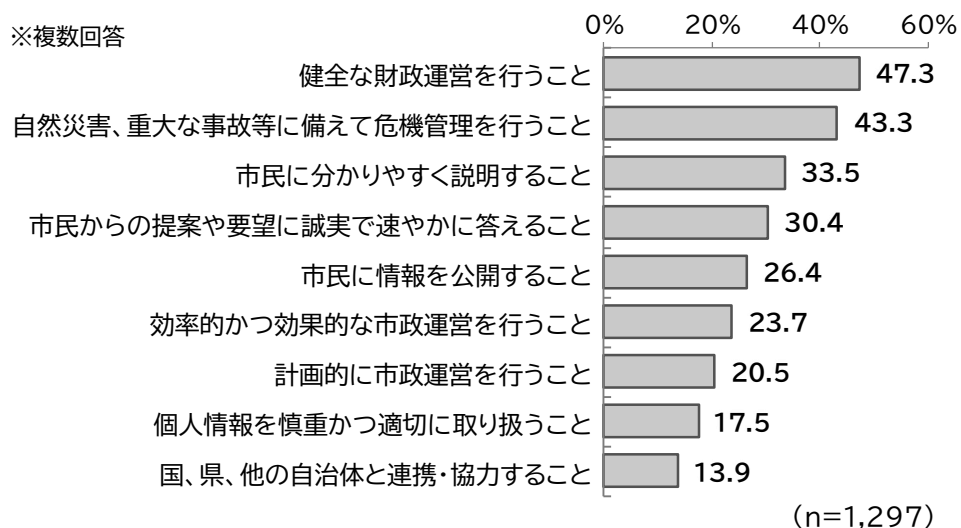
○「関市自治基本条例を知っていますか」

◆関市自治基本条例について、全体では「知らない」が65.2%、「名称は知っている」が31.4%となっています。年齢別にみると、40歳代以上で「名称は知っている」が30歳代以下と比べて高く、10～30歳代では8割の方が「知らない」と回答しています。



○「市政運営を進めるうえで、重要であると思われるものは何ですか」

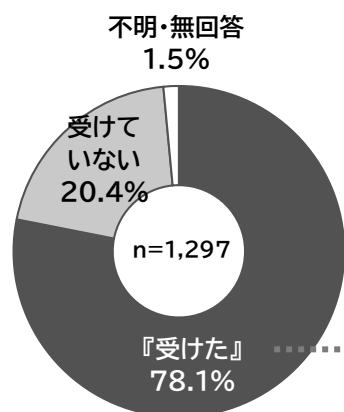
◆市政運営を進めるうえで、全体の4割以上が「健全な財政運営を行うこと」、「自然災害、重大な事故等に備えて危機管理を行うこと」が重要であると回答しています。



② 自身の健康管理について

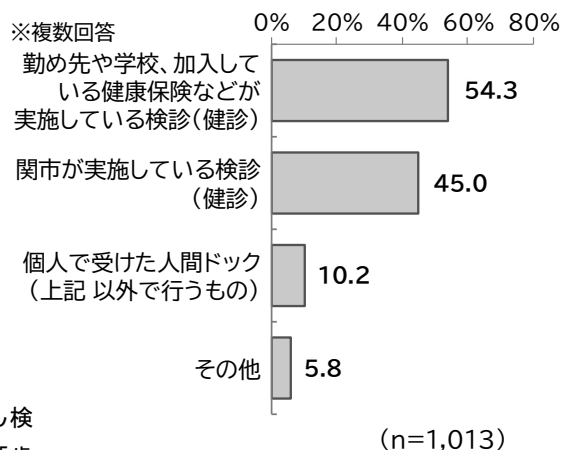
○「過去1年間に検診（健診）を受けましたか」

◆過去1年間に受けた検診（健診）について、いずれかの検診（健診）を『受けた』と回答した方の割合は 78.1%となっています。そのうち、「関市が実施している検診（健診）」を機会に受診した方は 45.0%となっています。



※『受けた』は、「胃がん検診」、「大腸がん検診」、「肺がん検診」、「乳がん検診」、「子宮がん検診」、「前立腺がん検診」、「歯科検診」、「特定健康診査やヤング健診、会社や学校での健康診断」のいずれかの検診（健診）を受けたと回答した方。

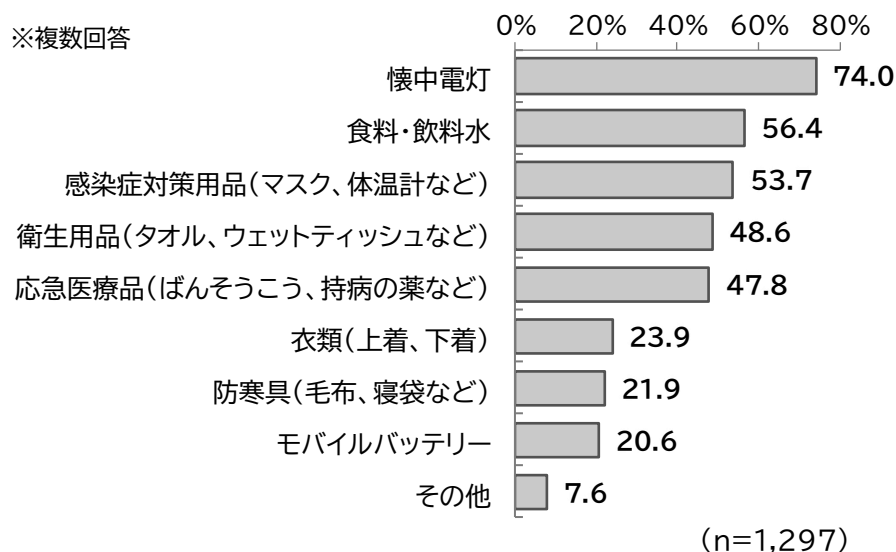
検診（健診）を受けた機会 ※『受けた』選んだ方



③ 防災について

○「あなたの家では備蓄品（非常持出品）について何を準備していますか」

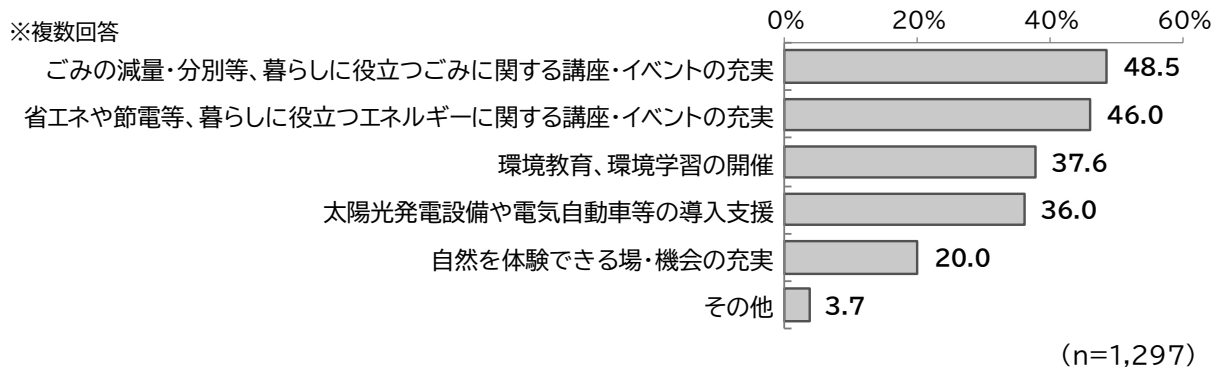
◆災害用備蓄品について、最も多く準備されているものは「懐中電灯」で 74.0%となっています。次いで「食料・飲料水」、「感染症対策用品（マスク、体温計など）」が半数以上と高くなっています。



④ 生活環境について

○「関市が地球温暖化対策を進めるために、重要であると思われるものは何ですか」

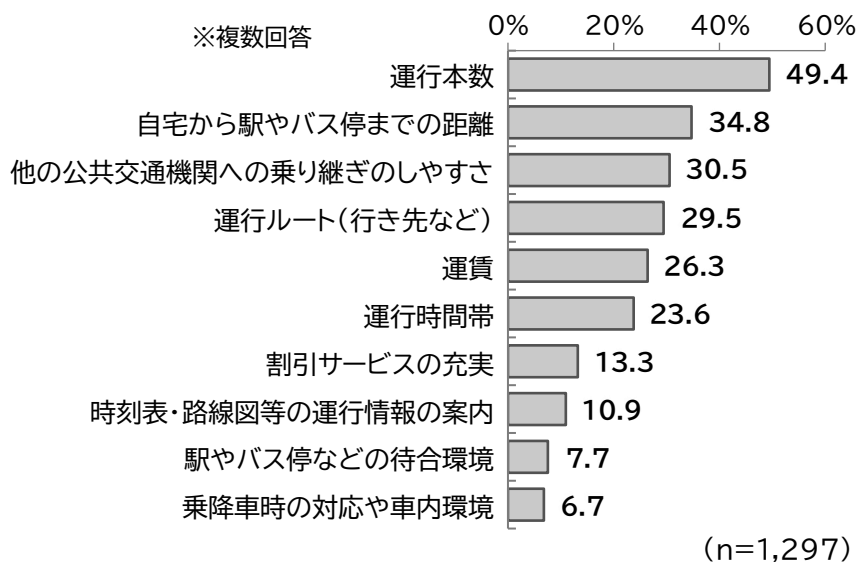
◆地球温暖化対策を進めるために、全体の 48.5%が「ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講座・イベントの充実」が重要であると回答しています。次いで「省エネや節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベントの充実」が 46.0%となっています。



⑤ 公共交通（鉄道・バスなど）について

○「公共交通をより利用しやすくするために、特に重要であると思われるものは何ですか」

◆公共交通をより利用しやすくするために、全体の 49.4%が「運行本数」が特に重要であると回答しています。次いで、「自宅から駅やバス停までの距離」(34.8%)、「他の公共交通機関への乗り継ぎのしやすさ」(30.5%)が高くなっています。



令和4年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）調査結果【結果報告書・概要版】
 発行年月：令和5年3月
 発行：関市
 編集：市長公室 企画広報課 岐阜県関市若草通3丁目1番地
 TEL 0575-22-3131（代表） FAX 0575-23-7744